

第九回

熊本城（熊本県熊本市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

熊本市賞一句

茜さす峰々遠し吾木香

長野県小諸市 田中 民明

特選三句

肥後菊の枯れゆく様にその名かな

熊本県熊本市 田中 和明

真鶴や新たに息吹く干拓地

熊本県熊本市 中村 文三

古里の忽ち見ゆる彼岸花

熊本県熊本市 中村 操子

投句総数 三九句

開函日 平成二十五年一月三十一日

法隆寺周辺（奈良県斑鳩町）

「花信」

主宰

福谷

俊子

選

奈良・斑鳩町賞一句

夢殿に桜冬木の影及ぶ

奈良県北葛城郡

荻野

鷹生

特選三句

秋雨のそぞろ歩きの法隆寺

三重県四日市市

河西

郁子

日を吸ふて大和の里の柿すだれ

奈良県生駒郡

松原

春城

淑気満つ杉玉の青際立ちて

大阪府東大阪市

中森

美代子

投句総数

一九六句

開函日

平成二十五年一月三十一日

博物館明治村（愛知県犬山市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

子規はいく賞三句

わかさぎ釣る風ぎたる湖のひとところ

岐阜県多治見市 田口 彦良

虫籠窓に杉玉ひとつ秋惜しむ

愛知県春日井市 野田 公雄

深秋の昼を灯して露伴邸

岐阜県各務原市 星河 ひかる

特選三句

薄日さし漱石邸にもみじ散る

愛知県春日井市 足立 孝

読初は子規さながらに仰臥して

愛知県名古屋市長 石井 耿太

手袋の落ちし階段聖ヨハネ

愛知県名古屋市長 宮脇 行正

投句総数 三〇六句

開函日 平成二十五年一月三十一日

子規庵（東京都台東区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

律さんの影も映りし障子かな

東京都多摩市 小林 義浩

六畳に冬至の光鳥の影

東京都葛飾区 上野 重光

終焉の間ながら冬日やはらかし

千葉県千葉市 丸茂 和志

投句総数 三九句

開函日 平成二十五年一月三十一日

記念艦 「三笠」 (神奈川県横須賀市)

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

初日の出三笠に乗りて明日見つむ

神奈川県川崎市 片野 菊女

夕ぐれの人かげさみし秋の海

神奈川県横浜市 滝野 光代

駅二つほどのしぐれや五能線

神奈川県逗子市 宮川 迪夫

投句総数 二一旬

開函日 平成二十五年一月三十一日

大和ミュージアム（広島県呉市）

「花信」

主宰

福谷

俊子

選

特選三句

十分の一の大和や虎落笛

兵庫県神戸市

小田

道知

日の丸に虫食ひの痕冬館

兵庫県神戸市

小田

玲子

冬晴れや手縫ひされたる軍艦旗

広島県廿日市市

山本

涼子

投句総数

六一句

開函日

平成二十五年一月三十一日

歴史博物館・漱石公園（東京都新宿区）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

淡海へと音ふるはせて除夜の鐘

東京都新宿区 大畑 雅敬

初明り太平洋を真二つに

東京都新宿区 ケイト 知美

石路咲ける子規山房に時過す

東京都北区 山崎 眞澄

投句総数 五八句

開函日 平成二十五年一月三十一日



鶴ヶ城（福島県会津若松市）

「花信」 主宰 福谷 俊子 選

特選三句

散紅葉天守の上へ吹き上ぐる

埼玉県川口市 加藤 三辰

「忍耐」の英世像へと雪を踏む

宮城県仙台市 西澤 勝

飯盛の若きみたまに秋の雨

千葉県茂原市 水野 良一

投句総数 六三句

開函日 平成二十五年一月三十一日